

万博計画具体化検討ワーキンググループ 有識者一覧

※五十音順、敬称略

小池 俊雄（こいけ としお）

国立研究開発法人土木研究所

水災害・リスクマネジメント国際センター センター長

1999年東京大学大学院工学系研究科教授。2014年より、現職。
東京大学名誉教授、日本学術会議会員。社会資本整備審議会河川分科会会長、日本学術会議の防災関連委員会委員長等を兼任。
専門は河川工学、水循環の科学、環境心理学。

近藤 哲生（こんどう てつお）

国連開発計画（UNDP） 駐日代表

1981年外務省入省。国連代表部勤務等を経て2005年よりUNDP入職。UNDPコンソバ事務所副代表、UNDP チャド事務所長などを歴任し、2014年1月より現職。UNDPは、国連の主導的開発機関として約170の国と地域でSDGsの主流化、加速、政策支援を効果的、整合的に支援する戦略を策定している。また、現職のほか東京大学大学院非常勤講師（国際保健政策学）、長崎大学客員教授を兼任。

西川 智（にしかわ さとる）

名古屋大学減災連携研究センター 教授

昭和57年東京大学工学系大学院修了後、国土庁に入庁。
以降、国連人道問題局、東京都庁、アジア防災センター、内閣府防災、国土交通省、水資源機構で勤務、防災行政と国際防災協力に長く関わり、平成30年より現職

根本 かおる（ねもと かおる）

国連広報センター 所長

テレビ朝日を経て、1996年から2011年末まで国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）にて、アジア、アフリカなどで難民支援活動に従事。ジュネーブ本部では政策立案、民間部門からの活動資金調達のコーディネートを担当。WFP国連世界食糧計画広報官、国連UNHCR協会事務局長も歴任。フリー・ジャーナリストを経て2013年8月より現職。



国際連合広報センター
UNITED NATIONS INFORMATION CENTRE

Tel: 03-5467-4451/Fax: 03-5467-4455
<http://www.unic.or.jp>



(広報資料)

プレスリリース pr19-004-J

2019年2月13日

略歴

マーヘル・ナセル
国連グローバル・コミュニケーション局アウトリーチ部長



マーヘル・ナセル氏は、国連システムで31年を超える勤務経験の持ち主であり、過去7年間で3度、グローバル・コミュニケーション局を率いる事務次長代行に任命されています(2012年4月～8月、2014年8月～2015年2月、そして最近では2017年4月1日～8月31日まで)。

ナセル氏は2011年2月、現職のグローバル・コミュニケーション局アウトリーチ部の部長に就任しました。それ以前にも、ウィーン、カイロ、アンマン、エルサレム、ガザの各地で国連グローバル・コミュニケーション局、国連パレスチナ難民救済事業機関(UNRWA)、国連薬物犯罪事務所(UNODC)の様々なポストを歴任しています。

ナセル氏は2019年2月、事務総長により、アラブ首長国連邦のドバイ市において開催予定の「2020年ドバイ国際博覧会(Expo2020)」の国連代表に任命されました。

ナセル氏は、パレスチナのビルゼイト大学で土木工学学士号を、英国ウォーリック大学で経営学ポスドク・ディプロマをそれぞれ取得。2018年1月から5月にかけて、国連のサバティカル休暇制度を活用した際には、コロンビア大学国際公共政策大学院(SIPA)で客員研究員を務めました。既婚で子ども3人。ランニングを趣味とし、2015年、2016年、2017年にはニューヨークシティマラソンで完走しています。

Twitter: @MaherNasserUN

LinkedIn: <https://www.linkedin.com/mynetwork/>